

健康な村づくりを目指して

砺波市農協婦人部

各地域の婦人部グループとか、婦人学級で健康問題を取り上げ、調査を行ない、貧血者の多いこと、身体の故障の多いことがわかり、もっと大々的にこの運動を広げましょうと働きかけて居りましたところ農協で52年度ミニドック検診の予算を戴く事が出来ました。

私達には馴れない事業ですが、予算を戴いた事が大へん嬉しく、一人でも多くの方に参加して戴き度い願いから一応120人分として2回に分けて厚生連 3,000円、農協側 2,500円、本人負担 2,500円という事で、7月5、6日(第1回)、11、12日(第2回)に行ないました。

第1日目は、採血、検尿、身長、体重の測定、第2日目は血圧測定、内科診察と、その結果にもとづいての個々の健康対策について話される方式です。

その結果が次の表です。

ミニドック総合判定表

判定 年齢	A	B	C	計	受診年 令割合
30才~39	3	1	2	6	5.1%
40才~49	21	16	6	43	36.5
50才~59	14	25	5	44	37.3
60才以上	7	9	4	20	16.9
年齢不明	1	3	1	5	4.2
計	46	54	18	118	100%
%	39.0	45.8	15.2	100	

- A……その検査の範囲では異常なし
 B……かるい異常、悪化を防ぐ時期
 C……精密検査、又は治療が必要

異常の首位を占める高コレステロール及び高脂肪血症24名、リウマチ反応18名、貧血16名、高血圧症13名、肥満を指摘された者33名、その他糖尿病、肝機能要精検者などもありました。

私達はこれを見て啞然と致しました。お話を聞いていたものの、こうははっきりと数字によって現れるとは!! むしろ栄養過剰といわれている現在に、こんな貧血症が出るとは、改めて私達の健康問題を取り上げる必要性を強く感じました。

又受検者の中に即入院なさった糖尿病患者者もあります。高血圧ですぐ通院なさっている方もあります。この方々は口を揃えて、「日頃こんなに悪いとも思っても居なかったのに婦人部のお世話でこの検診を受け、始めて自分の病気に気がびっくりした」とおっしゃいました。そして「この機会がなかったら、もっと病気を重くし、自分も家族も苦しんで居たでしょう。早くわかってもうこんな元気になったんですよ」「本当に嬉しいわ、このミニドックを受けたからこそよ」と心から喜んで話して下さいました。私達はこの言葉を聞くだけでも、やりがいがあったと思っています。

この表を通して栄養の摂り方、休養の摂り方、身体の管理の仕方等の問題が山程発見されます。一度に解決する事はなかなか出来ません。第一歩として、栄養面で今年の水田再編対策事業の休耕田に惜しげもなく自給出来る大豆、野菜、緑黄色野菜を作る事、三食に

ふんだんにこの野菜を摂る事を強く進めて行き度いと思います。

丁度農協中央会の農業従事者健康問題調査地区に砺波市も入っているそうですので、そのデータも見せて戴き、教えてもらい度いとお願ひして居ります。そして53年度は 350

名受けられる大きいミニドック検診予算を戴くよう農協にお願ひして居ります。新年度3月には予算通過の嬉しい便りが待たれます。

この様にして私達組織の力で自分自身の健康を守り、地区ぐるみの明るい豊かな生活を送る為、一歩ずつ力強く歩んで居ります。